

西区ビジョン

(1) 景観特性と景観づくりの課題

◆景観特性

西区は、三橋総合公園、鴨川みずべの里、西遊馬公園、錦乃原桜草園、大宮花の丘農林公苑など特色ある公園が多く立地し、河川では荒川、鴨川のほか、桜並木の美しいびん沼川などが流れ、季節の花々も豊かで自然景観に恵まれています。

また、社寺など地域固有の歴史文化資源も多く、秋葉ささら獅子舞や指扇の餅搗き踊りなどの民俗芸能が今も受け継がれています。

区の中央部は、JR川越線を挟んで住宅を中心とする市街地が広がっており、その周辺は雑木林、屋敷林、農地などのみどりが豊富で、緩やかな坂や台地の景観が特徴となっています。

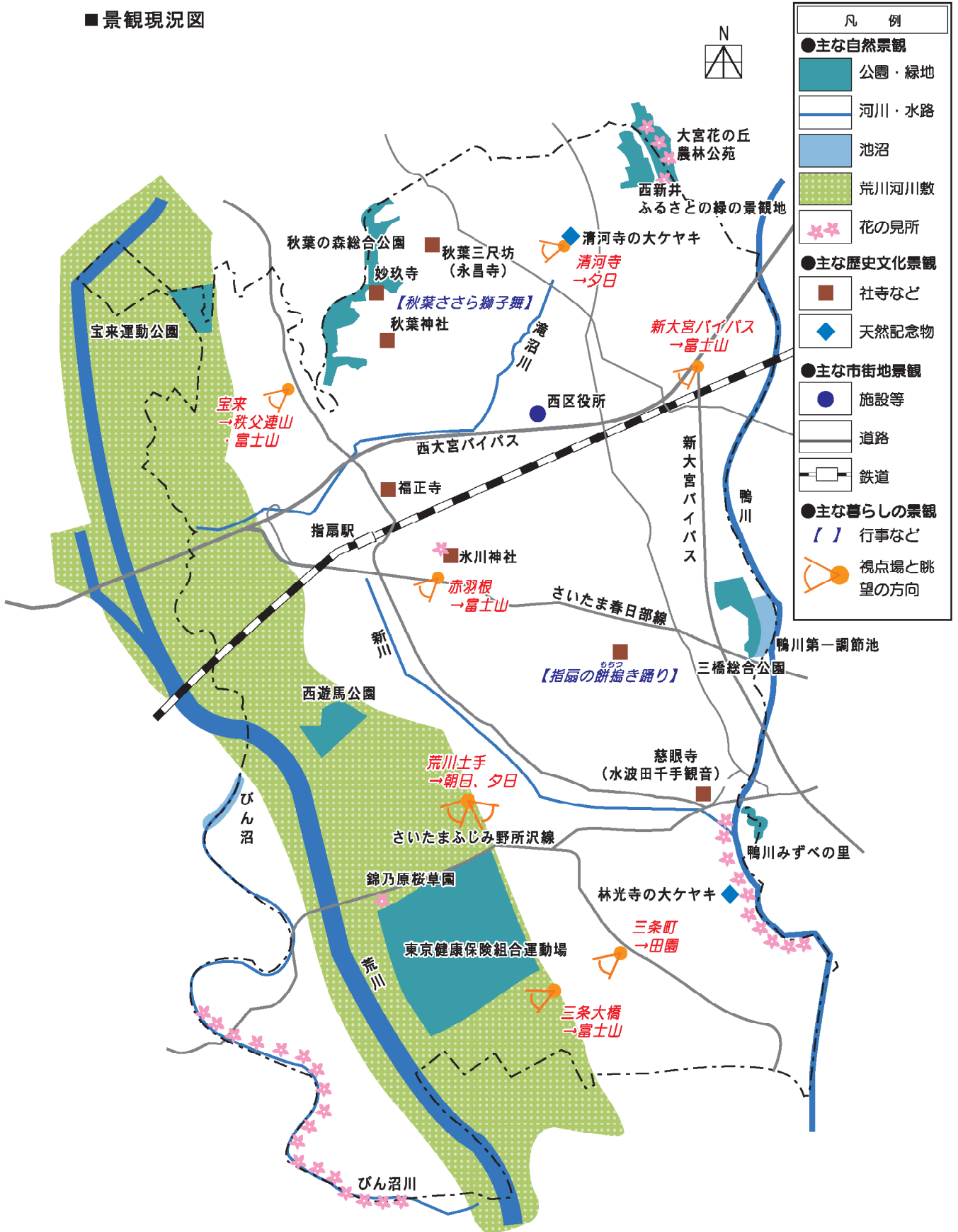
幹線道路では新大宮バイパスが南北方向に、西大宮バイパスが東西方向に走るほか、西区と大宮駅周辺地区を結ぶ、さいたま春日部線、さいたまふじみ野所沢線などが、道路体系の骨格となっています。

現在、JR川越線の南側や西区役所を含む一帯では、土地区画整理事業が進み、また、新駅が設置されることから、区民の交流や日常生活における新たな拠点を担う地区として期待されています。



荒川

■ 景観現況図



◆景観づくりの課題

①荒川沿いの広がりある景観

桜区へ続く荒川沿いは、広がりある水とみどりの景観や、遠方の秩父連山や富士山を望むことができる、市民にとって貴重な憩いの場となっています。この広がりある景観を生かしていく必要があります。

②豊かな水・みどりと歴史文化の景観

区内を流れる鴨川やびん沼川などの河川とその周辺に広がる水田や河畔林など、豊かな水とみどりに恵まれており、びん沼川は、休日には多くの釣り人などでにぎわっています。

また、秋葉ささら獅子舞など民俗芸能が今も受け継がれており、これらの景観資源を生かした景観づくりが必要です。

③住宅地の景観

屋敷林や生垣を擁した、みどり豊かな住宅地が多く見られますが、道路が狭く、電線類により雑然とした印象を与える地域もあります。

④西大宮バイパスなどの幹線道路沿道の景観

区の景観づくりの骨格となる西大宮バイパスやさいたま春日部線などの幹線道路の沿道には、多くの商業施設が立地していますが、周辺に調和しない形態意匠の建築物や屋外広告物が見られ、雑然とした印象を与えています。

⑤西区役所及び新駅周辺の新しい景観

西区役所及び新駅周辺は、土地区画整理事業により新たなまちづくりが進められています。今後は地域の拠点として、西区の顔にふさわしい景観づくりを進めていく必要があります。

(2) 景観づくりのテーマ

荒川の水とみどりと花を生かす、四季彩の景観づくり

荒川河川敷周辺に広がる田園をはじめ、季節の移り変わりによって表情を変える自然や、市民の生き生きとした生活など、西区には四季折々の景観の姿があります。こうした景観をこれからも守り、育て、新しい景観づくりに継承していきます。



大宮花の丘農林公苑

(3) 景観づくりの方針

① 荒川景観軸の広がりを守り、生かす景観づくり

- ・ 荒川景観軸の豊かな緑地や農地の保全に努めるとともに、治水機能の強化と親水性の確保に努めます。
- ・ 自然とふれあう場、レクリエーションの場として親しまれる景観づくりに努めます。
- ・ 荒川の周辺から見ることのできる広大なみどりの景観、朝日や夕日、遠くの山々の眺望景観などを広くPRしていきます。

② 鴨川やびん沼川などの身近な水とみどりや歴史文化を生かす景観づくり

- ・ 鴨川やびん沼川など、水辺の空間の保全に努めます。
- ・ 水辺とその周辺を一体的に捉え、景観に配慮した護岸整備やみどりを創出し、水とみどりのネットワークづくりに努めます。
- ・ 雑木林や農地などのみどりの保全に努めます。
- ・ 慈眼寺などの歴史文化資源周辺では、建築物などの形態意匠や見通しに配慮し、趣のある風情を守ります。
- ・ 案内板の設置や回遊ルートの検討など、歴史文化を伝える景観資源のPRに努めます。

③ 落ち着いたあるみどり豊かな住宅地の景観づくり

- ・ 住宅地では、建築物の形態意匠に配慮し、地域の街並みに合わせた景観づくりに努めます。
- ・ 屋敷林の保全に努めるとともに、生垣化などにより、さらなる敷地内の緑化を促進します。
- ・ 気持ちよく歩くことのできる歩行者空間の確保に努めます。
- ・ 地域住民の協力と参加を図り、周辺と調和する建築物などの高さのあり方を検討します。

④ 西大宮バイパスなどの幹線道路沿道の景観づくり

- ・ 西大宮バイパスなどの幹線道路沿道では、建築物や屋外広告物の形態意匠に配慮し、周辺との調和に努めます。
- ・ 道路の緑化と電線類の地中化に努めるとともに、沿道の建築物における敷地内の緑化を促進します。

⑤ 西区役所、新駅周辺の新たな顔となる景観づくり

- ・ 西区役所周辺では都市基盤の整備に併せて、地域交流や活動の場の拠点となる景観づくりを図ります。
- ・ 新駅周辺においては、地域の玄関口にふさわしいにぎわいを創出するとともに、周辺の豊かな自然と調和するよう景観づくりを図ります。



荒川周辺の広大な水田（島根付近）



前面のスペースを活用して花壇を整備している西区役所

◆ 景観づくりの方針図

